

(2) 東北



東北地域では、景気は弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている。

- ・ 鉱工業生産は弱含んでいる。
- ・ 個人消費は底堅く推移している。
- ・ 雇用情勢は改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(は上方に変更、 は下方に変更)

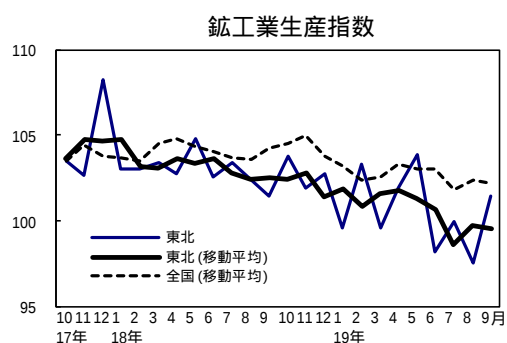
前回からの主要変更点

	前回 (令和元年 8 月)	今回 (令和元年 11 月)	
鉱工業生産	おおむね横ばい	弱含み	↓
雇用情勢	着実に改善	改善	↓

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は弱含んでいる。

7 - 9 月期には、電子部品・デバイスは、サーミスタ等が増加したことにより、増加した。食料品は、清涼飲料等が増加したことにより、増加した。化学・石油製品は、フッ素樹脂等が増加したことにより、増加した。輸送機械は、乗用車等が減少したことにより、減少した。生産用機械は、半導体製造装置等が減少したことにより、減少した。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		4 - 6 月期	7 - 9 月期	7月	8月	9月
電子部品・デバイス	15.3	▲1.0	3.5	1.6	▲1.4	1.7
食料品	11.0	▲1.1	2.4	0.1	4.3	3.1
化学・石油製品	9.1	▲1.8	0.5	5.1	3.7	14.7
輸送機械	7.9	0.7	▲2.5	2.6	▲3.2	1.0
生産用機械	6.7	▲0.6	▲11.3	▲2.4	▲9.6	15.8
鉱工業	100.0	0.5	▲1.6	1.8	▲2.4	4.0

(備考) 1. 2015 年=100、季節調整値。東北の最新月は速報値。
2. 全国及び東北の太線は中心 3 か月移動平均。
直近月は 2 か月平均。

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い 5 業種。
2. 7 - 9 月期、9 月は速報値。

2. 個人消費の動向

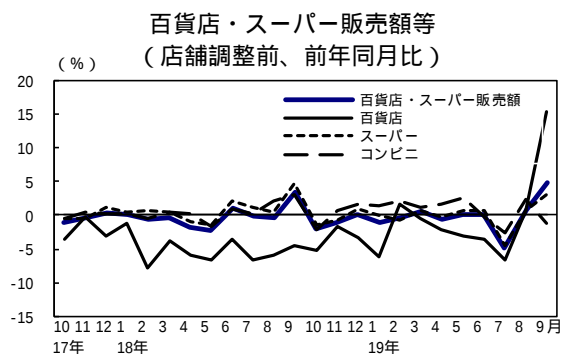
個人消費は底堅く推移している。

(1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

7月は前月比1.6%減、8月は同2.3%増、9月は同3.4%増となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店は、7月は、衣料品等が減少したことから前年を下回った。8月は、飲食料品が減少したが、家具・家電・家庭用品等が増加したことから、前年を上回った。9月は、飲食料品が減少したが、身の回り品や家具・家電・家庭用品等が増加したことから、前年を上回った。
スーパーは、7 - 9月期は、飲食料品等が減少したことにより、前年を下回った。

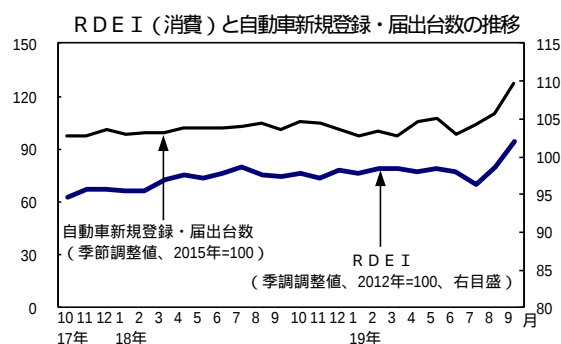


	2019年7-9月	2019年7月	8月	9月
RDEI (消費*1)	0.9	▲1.6	2.3	3.4
百貨店・スーパー(*2)	0.1	▲4.9	0.8	4.8
百貨店(*2)	2.4	▲6.7	0.7	15.3
スーパー(*2)	▲0.3	▲4.5	0.8	3.1
コンビニ(*2)	▲0.5	▲2.5	2.4	▲1.3
乗用車(*3)	12.6	2.6	4.6	27.7
(季節調整値)(*3)	9.8	6.1	6.0	15.4

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比(%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比(%)

3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))



3. 雇用情勢

雇用情勢は改善している。

有効求人倍率は低下している。完全失業率は前期を上回っている。

